



# 石台だより

令和4年2月4日

学校評価特別号

練馬区立石神井台小学校

校長 海老原 誠

〒177-0045 練馬区石神井台 8-6-33 TEL.3928-7124  
<http://www.shakujiidai-e.nerima-ky.ed.jp/>

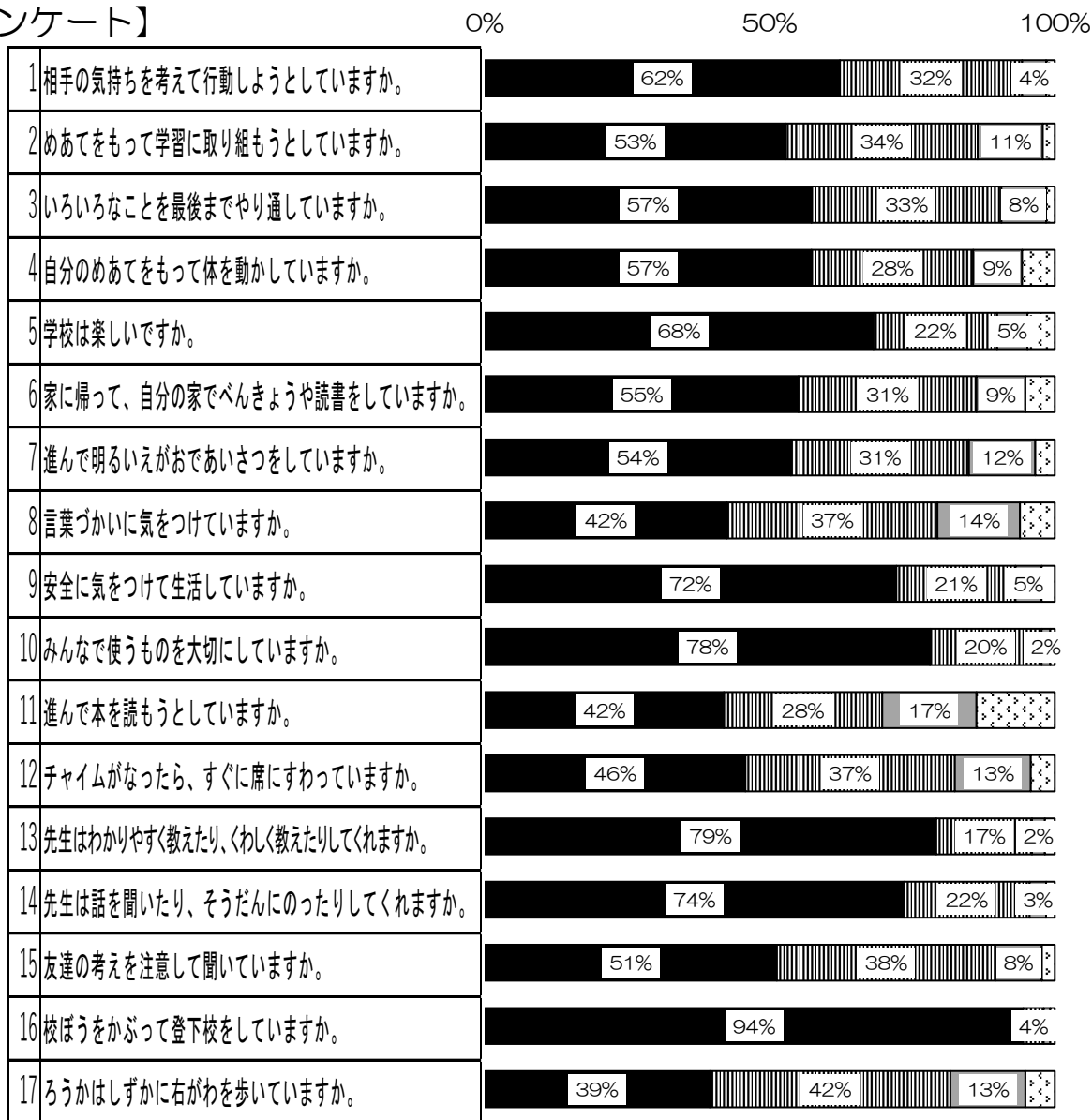


## 学校評価アンケートについて

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。今年度も残り少なくなってきましたが、次年度に向けて子供たちは、日々の活動に張り切って取り組んでいます。

11月に行いました学校評価アンケートにご協力いただき、心よりお礼を申し上げます。アンケートの結果を今後の教育活動の計画と改善のための貴重な資料とさせていただきます。

### 【児童アンケート】



- そう思う
- ▣ どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

## 【児童アンケートより】

各アンケートの結果から、概ね8割以上が肯定的な回答数値だとわかりました。特にアンケート1・2・3・5・9・10・16などは9割以上の数値となりました。今年度本校の目指す学校像に向けた取組に児童も応えてくれたことで教師・児童共に力を合わせてよりよい学校生活を送ろうとしていることが感じられます。

児童が教職員について尋ねるアンケート13・14でも児童から肯定的な回答数値となりました。90%以上の児童が教師との関係が構築できていると感じているようです。教員間はもちろん、心のふれあい相談員、スクールカウンセラーとともに学校としての教育相談機能を高め、児童一人一人の心に寄り添う支援・丁寧な対応を心がけていきます。

反面、アンケート8・11の項目については8割を下回る数値となりました。言葉遣いや読書活動に関する内容です。言葉遣いにつきましては、学年が上がるにつれて、TPOを意識した言葉がつかえるように指導していきます。また言葉遣いに加え、相手が嬉しくなる言葉や傷つく言葉など、日頃の生活や授業を通して児童に伝え、よりよく関われるように支援します。文章に表現したり、言葉で伝え合ったりする際に必要となってくる語彙を増やし、文章に慣れ親しむためには読書がとても大切です。学校でも時間を確保し、読書に親しむ児童の育成に努めていきます。ご家庭でも、読書の習慣化にご協力ください。



## 【保護者アンケートより】

まず、回答率が80%から55%に大きく下がりました。回答方法が変わったことが第一の理由として考えられます。まだこの方法に慣れていないことと共に、マークシートという有形なものからデジタルデータという無形なものに変わり、提出した・しないの違いに実感が伴いにくいことも一因ではないかと考えられます。今後、提出ご協力の呼びかけ方法などに工夫が必要です。

今年度も昨年度比較で、肯定評価(1・2の合計)の割合が概ね向上しています。

今回、特に7の『子供は家庭で進んで学習に取り組んでいる。』が大きく向上しています。大変喜ばしいことです。教員も児童もタブレット操作に慣れ、家庭学習のハードルが下がったことが大きな要因と考えられます。毎日『クラスルーム』を見るついでに、などが家庭学習開始のきっかけになったり、ゲーム感覚で取り組めたりと良い方向に働いていると思われれます。

15の『学校は、お互いの考えを注意して聞き合えるように指導している。』と22の『学校は特色ある教育活動を行っている。』について、今後改善が望まれる項目です。15につきましては、今年度の校内研究テーマである『互いに高めあう関わりができる、石台小の子』での学校の取り組みの成果が待たれます。22につきましては、今年度もコロナ禍で制約の多い中での活動となりましたので、今後も制約の中での活動を工夫してまいります。

また、「わからない」が多い項目については、ご家庭に伝わるよう今後努力してまいります。

☆以下のようなご意見もいただきました。

○登校班もないので、きちんと見回り等していただけると安心して登校できると思います  
⇒父母と教職員の会運営委員会で情報提供しました。

○タブレットについて1年生が毎日持つには重すぎるように思えるところが懸念です。  
⇒今後、検討していきます。

○朝の健康チェック表を見せる列が密すぎると思う。  
⇒1月から1年生の昇降口での健康チェックは行わず、全学年教室前で行っています。

○運動会や遠足、縦割りの活動など、通常に近い状態で今後開催できるでしょうか。  
⇒令和4年度は、2年前に近付くような教育活動を計画する予定です。